

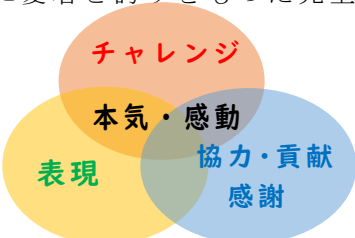
学校教育目標

「本気」と「感動」
チャレンジする力 表現する力 協力・貢献する力

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

○子供たち・坂町の未来を創る
 新たな時代を豊かに生き抜く力を身に付け、「ふるさと坂」に愛着と誇りをもった児童を育成する、地域とともにある学校となる。
 <めざす子ども像>

さ	・・・	「最後までがんばる子」
か	・・・	「考えを深め合う子」
しよ	・・・	「正直でやさしい子」
う	・・・	「運動が大好きな子」



II ビジョン（めざす学校像・自校の将来像）

○みんなのチャレンジを応援する学校「個別最適な学び」「共に伸びる・育てる」「礼節」
 「学校は楽しい・坂小で学んでよかった」と児童が思える学校。
 「坂小での子供たちの成長が楽しみ・共に子供たちを育みたい」と地域・保護者とつながる学校。
 「子供たちの笑顔のために協働的に学び合い、自ら伸びよう」と教職員がチャレンジする学校。

III 現状分析

- ・児童会執行部を中心に、児童会行事が充実している。挨拶、黙動清掃も児童主体の取組となっている。今後、坂小の伝統、坂小の良さ（強味）として意識を高めていく必要がある。
- ・ICT活用による授業改善の成果として、学習意欲と自分の考えをまとめ表現する力の向上が見られた。一方、必要な情報の読み取りや、文章題の立式等、読解力に課題がある。
- ・命を守ることや、自分や友だち、家族を大切にすることへの意識は高まったが、生活リズムの乱れや人間関係づくりの難しさによる登校不安の児童が増加している。
- ・人材育成と指導力向上に向けた取組による教職員のモチベーションアップと、協働的な学び合いによるチーム力のさらなる強化が必要である。

IV 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
【確かな学力】 主体的に学び、最後までがんばり、豊かに表現することができる児童	○基礎的な学力の定着 ○表現力につながる読解力の育成	・日常的な授業改善（ICTの活用・「理由付け」「比べる」） ・木曜道場の充実 ・カリキュラム・マネジメントの充実 ・授業、児童会行事等による読書推進
【豊かな心】 礼節を重んじ、友だちや家族を大切に思う心もち行動しようとする児童	○礼節の向上 ○思いやりの心の育成	・めあてと振り返りの充実 ・委員会発信による取組の充実 ・児童の姿の価値付けと見える化による共有
【たくましい体】 体を動かすことが好きで、基本的な生活習慣が身に付いている児童	○体を動かすことが好きな児童の育成 ○健康を守る意識の向上	・外遊びの奨励（ディスタンス00デー） ・体育科授業の工夫（授業始めのサーキット） ・生活リズムの改善と定着（メディアコントロール） ・感染症対策の共有（坂小くまちゃん）
【信頼される学校】 地域・保護者とつながる、安全・安心な学校	○地域・保護者との連携・協働 ○組織力の向上	・学校だより、学年だより、HP等による教育活動の発信 ・心に寄り添う生徒指導と教育相談 ・組織による危機管理と業務改善